

2. 第43回 卓球競技実施要項

(下線は改正箇所)

1. 競技種目

団体戦: 男子団体・女子団体

個人戦: 男子シングルス (1部・2部)

女子シングルス (1部・2部)

ダブルス戦 (男子ダブルス・女子ダブルス・混合ダブルス)

2. 競技規則

大会開催年度の日本卓球ルール及び本大会申合せ事項による。

3. 出場資格

①団体戦については、男女とも1加盟団体1チームとする。

②個人戦に出場する場合、1部と2部のいずれかに出場するものとする。

③個人戦(男女シングルス)のうち、1部は年齢制限がないが、2部は男子は40歳以上、女子は35歳以上希望者とする。

④個人戦(男女シングルス)、ダブルス戦は参加制限をしない。但し、団体戦に登録した選手はダブルス戦に出場できない。

⑤ダブルスペア編成については原則として地元優先であること。しかし加盟団体チーム内での人数によってダブルスのペアが組めない場合、大会競技実施要項規定の6(2)により他の加盟団体の者と組むことが出来る。

4. チームの編成

男女とも、監督1名、選手3~5名、コーチ1名を登録することができる。

5. 競技方法

①団体戦は参加数により、以下の方法で行う。

但し参加状況により競技方法を変更することがある。

・ 6チーム以上の場合は、いくつかのブロックに分けた予選リーグ戦とし、各ブロック1位、もしくは1、2位チームがトーナメント戦出場とする。但し、会場や時間などの都合により参加状況によってはトーナメント戦になることもありえる。

・ 5チーム以下の場合は総当りリーグ戦とする。

② リーグ戦の順位決定は勝者2点、敗者1点、棄権0点で得点計算をして決定する。(現行日本卓球ルールによる)

③ 勝敗の決定(団体戦)は、各11点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)とする。

④ 団体戦は、男女とも、北京オリンピックの団体戦方式とし、1番シングルス、2番シングルス3番ダブルス、4番シングルス、5番シングルの5試合で3試合を先取したチームが勝ちとなる。

		<u>ABCチーム</u>	<u>XYZチーム</u>
<u>1番</u>	<u>シングルス</u>	<u>A</u>	<u>X</u>
<u>2番</u>	<u>シングルス</u>	<u>B</u>	<u>Y</u>
<u>2番の試合終了後、監督がダブルスペアを決定する。5分間の休憩。</u>			
<u>3番</u>	<u>ダブルス</u>	<u>C+AまたはB</u>	<u>Z+XまたはY</u>
<u>5分間の休憩</u>			
<u>4番</u>	<u>シングルス</u>	<u>AまたはB</u> <u>(ダブルスでプレーしてい</u> <u>ない選手)</u>	<u>Z</u>
<u>5番</u>	<u>シングルス</u>	<u>C</u>	<u>XまたはY</u> <u>(ダブルスでプレーしていな</u> <u>い選手)</u>

- ⑤個人戦、ダブルス戦ともトーナメント方式で行う。但し、個人戦の 2部 は参加状況により、競技方法を変更することがある。(決定は競技主管で行う)
- ・1部 個人戦の1回戦から準々決勝までは、11点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)、準決勝、決勝戦は11点7ゲームマッチ(4ゲーム先取勝)にて行う。
 - ・2部 個人戦、ダブルス戦は11点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)にて行う。
- ⑥タイムアウト適用については、競技主管で決定するものとする。

6 申し合わせ事項

- ① 1部、2部 競技者の半袖シャツ、ショーツ、スカートは、**JTTA** の公認マーク付きのものを使用してください。
- ②半袖シャツは団体戦やダブルス戦の場合、全ての試合において、チーム又はパートナーは同一の柄の半袖シャツ着用とすること。ショーツは同色であれば、よいとする。
- ③ゼッケンは、JTTA 公認のゼッケンか、下図の様式の通り作成し、背部に着用すること。

名前
(都道府県名)

縦 21cm 横 28cm

- ④会場及び時間の都合、または参加チーム及び選手が多いあるいは少ない場合、試合方式を変更することがあります。(場合によっては中止することもある)
- ⑤個人参加申込みについては、ベスト8、16 選手同士の組み合わせを考慮するために戦歴を参考欄に記入してください。
- ⑥試合中のアドバイスについてはアドバイザー1名のみベンチに入れる。(アドバイザーは競技者と共にベンチに入れること)
- ⑦召集は2回までコールします。2回のコールで指定されたコートに入らない場合は棄権になる場合があります。

7. 使用球

ボールは **JTTA** 公認の 40 ミリボールを使用する。(使用球のメーカーは主管協会が決めるものとする。色は白とする。)

8. 組み合わせ方法

- ①団体戦の組み合わせは、監督・主将等合同会議において、もしくは参加申し込み締め切り後、

実行委員会と競技主管団体、技術委員、審判長の立会いのもとで、代理抽選により決定する。

②個人戦とダブルス戦の組み合わせは、参加申込み締め切り後、①と同様のもとで、代理抽選により決定する。

③シードは下記の通りとする。シード並びは現行日本卓球ルールに従うこと。

男女団体戦…前回ベスト4まで

男女個人戦…前回ベスト16まで

男女混合ダブルス…前回ベスト4まで(但しパートナーの変更は不可)

個人戦…各種目ともひとつのエリアに同じブロック選手、または同じ加盟団体選手が集中しないよう、配慮すること。

9 表彰

①団体戦は優勝チームに優勝旗(持ち回り)・賞状・メダルを、2位・3位チームには賞状・メダルを授与する。

②個人戦とダブルス戦は、1位から3位までに賞状・メダルを授与する。

③種目ごとに競技終了後、表彰式を行う。

10. 注意事項

①団体・シングルス・ダブルス戦の参加申し込みについては、備考欄に戦歴を記入とのこと。特にシングルの申し込みには、**1部**と**2部**との区別を明らかにすること。

②ダブルス同意書は、参加申込みと同様、通常締め切りとする。

③競技進行はタイム・テーブルによって行うので、各自の出場時間及びコートを予め確認しておくこと。しかし進行の都合で試合予定のコートや時間を変更することがありますので、その場合、競技者は競技役員の指示に従ってください。

④団体戦のオーダーは、第1試合は〔 〕時(監督・主将等合同会議にて決定)、第2試合以降は対戦チームが決定次第直ちに提出すること。

⑤その他については、大会本部又は競技役員の指示に従うこと。

11. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会
- ・一部改正 2007年3月9日 第3回本委員会
- ・一部改正 2008年2月3日 第3回本委員会
- ・**一部改正 2009年2月8日 第3回本委員会**